



妙雲尼塔の大杉



妙雲寺(本堂)



妙雲寺(宮殿)

私のまちの  
**近い**  
遺産

▶ 問い合わせ  
生涯学習課  
☎0287(37)5419

塩原の文化財あふれるお寺～**妙雲寺**～

塩原の温泉街を散策すると、そこには立派な門構えをしたお寺があります。その名は「妙雲寺」。830年以上の歴史を持つ由緒あるお寺です。今回は、そのお寺とお寺に関する文化財を紹介します。

Topic

妙雲寺に咲き乱れる牡丹

例年5月上旬から下旬にかけて「塩原妙雲寺ばたんまつり」が開催されていることを知っていますか。約3,000株の赤やピンク、紫、白、黄色の牡丹が咲き誇り、境内を彩ります。この牡丹は、「妙雲寺の牡丹を育てる会」の会員が丹精込めて手入れをしているそうです。今年は残念ながら、新型コロナウイルスの影響により、まつりは中止となってしまいましたが、来年こそは無事実施されるといいですね。



大輪の花を咲かせた牡丹

境内には、妙雲寺(本堂)、妙雲寺(宮殿)、妙雲寺の薬師堂、妙雲寺の塩溪文庫(旧閻魔堂)、品川弥二郎の旧念仏庵、そして妙雲尼塔の大杉と6つの市指定文化財があります。妙雲寺の創立は、寿永3(1184)年、平貞能の手により草庵が結ばれ、正和元(1312)年妙雲寺と改め甘露山の号を付し寺院を建立しました。その後、落雷のため焼失しましたが、元文5(1740)年に再建されました。

寺の本堂内部は、一般に礼拝するための外陣と、仏像を安置するための内陣に分かれ、内陣に宮殿が置かれています。この宮殿の内陣には、室に本尊釈迦如来仏像が安置されています。また、妙雲寺を開山した大同妙喆和尚の時代に、平重盛公の姥、妙雲禅尼の墓じるとして植えられたものと伝えられる古木、妙雲尼塔の大杉があります。3本の杉が根元で結合していて、今なお樹勢は盛んです。

このように建造物だけでなく、多くの文化財がある妙雲寺。現在は新型コロナウイルスが、私たちの生活に多大な影響を及ぼしていますが、状況が落ち着いたら頃に、塩原を散策しながら、歴史ある妙雲寺を巡って、塩原の魅力を再発見してみたいかがでしょう。